

日中は暖かく感じても朝夕の気温が大きく下がらずいぶんと秋らしくなりました。新しいジャンパーや上着を着て来て「これ、ママに買ってもらったの」「脱ぎたくないの」と嬉しさを伝えて来てくれます。

運動会では、ぱんだ組の子どもたちにとって人前で踊ったり走ったりする初めての経験となりました。いつもと違う雰囲気を感じて緊張してしまい、練習通りには行かないところもありましたが、お父様・お母様と一緒に楽しく過ごせたのではないかと思います。運動会での経験を糧にして、子どもたちの成長に繋げていけるよう、気持ちに共感しながら今後も保育をしてみたいと思います。

ぱんだ組の子どもたちは「食欲の秋・スポーツの秋」と言ったところでしょうか。思い切り走り回った後は、以前よりも食事量も増えて、完食出来なかった子がペロリと完食したり、「おかわり」の声が多く聞こえて来るようになりました。

これから寒くなって風邪など体調を崩しやすくなるので、楽しく身体を動かし、おいしく食べて、身体を休める事を大切にして過ごしてみたいと思います。ご家庭と園とで体調など細かく伝えあい健康に過ごせるよう、これからもご協力をお願いいたします。

(ぱんだ組担任 田中ゆみ子)



直前インフォメーション

○11月からの服装について

10月のお便りでもお伝えいたしましたが、11月1日(月)より白ブラウス・白ポロシャツに黒・紺色の無地のズボンで登園していただきますようお願いいたします。

○11月4日(水)収穫感謝祭

各学年で『にんじん・だいこん・かぶら』のダンスを踊り、実りの秋に感謝をして収穫を祝います。

○11月5日(金)パンバイキング

今年度はコロナ感染対策のため、バイキング形式では行いませんが、給食室より特別なパンを提供していただきます。

○外用遊び着について

寒さが増してまいりましたので、外遊び用の上着をご用意ください。

必ず記名の上、子どもの安全のために、フードのついていないものをお願いいたします。なお、月末の持ち帰りとなります。

○衣服の記名確認のお願い

いつも衣類に記名のご協力をいつもありがとうございます。何回も洗濯を繰り返しているうちに名前が薄くなり読めなくなっているものもごございます。今一度衣類の名前がはっきりと書かれているかを確認していただきますようお願いいたします。また、名前のない衣類が増えてたまってしまっておりますので、登降園の際に目を通していただきますようお願いいたします。



11月の目標

- ・簡単な身の回りのことを、自分でやってみようとし、出来たことを喜ぶ。
- ・秋の自然に触れながら、身体を十分に動かして楽しむ。



11月の歌紹介

子ども園でも歌っているうたです。

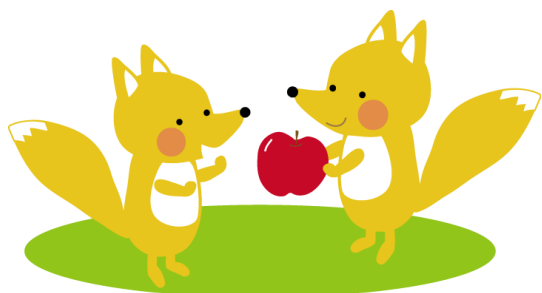
ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪ 小ぎつね ドイツ民謡 和訳：勝 承夫

1 こぎつねコンコン やまのなか やまのなか
くさのみつぶして おけしょうしたり
もみじのかんざし つげのくし

2 こぎつねコンコン ふゆのやま ふゆのやま
かれはのきものじゃ ぬうにもぬえず
きれいなもようの はなもなし

3 こぎつねコンコン あなのなか あなのなか
おおきなしっぽは じゃまにはなるし
こくびをかしげて かんがえる



♪ きのこ 作詞：まど・みちお 作曲：くらかけ昭二

1 きききのこ きききのこ
ノコノコ ノコノコ あるいたりしない
きききのこ きききのこ
ノコノコノコノコ あるいたりしないけど
ぎんのあめあめふったらば せいのがびてく
るるる るるる
いきてる いきてる いきてる いきてる
きのこはいきてるんだね

2 きききのこ きききのこ
ニョキニョキ ニョキニョキ うでなんかださない
きききのこ きききのこ
ニョキニョキ うでなんかださないが
ぎんのあめあめふったらば かががおおきく
なるなる なるなる
いきてる いきてる いきてる いきてる
きのこはいきてるんだね

11月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

「14ひきのあきまつり」

作：いわむら かずお

出版社：童心社

森の中のかわいい14匹のねずみの家族を描いた「14匹シリーズ」の一冊です。小さな子ども向けの絵本の中では珍しく淡く繊細なタッチで描かれていますので、おうちでお子様をお母様やお父様の膝に乗せてじっくり読んだりすると楽しいですよ。いろいろな発見ができます。他にもたくさんのシリーズの絵本が出ています。ぜひ読んでみてください。



食育について



「野菜の美味しさを知る。」

一般的に野菜がらいの子は多いものですが、ぱんだ組の子どもたちは野菜をおいしく食べている姿を多く見かけます。なぜなのでしょう。その秘密をご紹介します。

○身体を動かしてしっかりお腹を空かせてから食事に向かいましょう。

どんなにおいしい献立でもお腹が空いていないと美味しさを感じにくくなってしまいます。間食も控えめにしてしっかりお腹を空かせて食べ始められるように出来ると良いですね。

○食べ物のお話を聞いてから食べています。

食事の前に、その日の献立のお話しをしています。どんなものが入っていて、どのように調理されているのか、また食べる事で身体にどのような良い事があるのを伝えています。全てを理解することは難しくても、食材に対する興味や関心につながっていき、食べる事の大切さを知っていきます。

○食べ始めに野菜の献立から食べる。

園では最初にサラダやお浸しなど野菜の献立を一番先に食べるようにテーブルに出しています。お腹が空いている状態で最初に食べるとしっかりと野菜の美味しさを感じられるのです。そして、それを繰り返す事で慣れて食べられるようになっていきます。食べる量も少量から始めると食べられた達成感にも繋がり自信がつかますね。ぱんだ組では野菜の献立・主菜を食べ終わってから、ご飯などの炭水化物を一人ひとりに運びながら食べ進めています。大人でも好みのものから食べたくるものですが、好みのものから食べてしまうと最後は苦手なものがお皿に残ってしまいがちです。苦手な上にお腹もいっぱいになりかけている状態では美味しさを感じにくくなってしまいますよね。汁物の後、最後はデザートで終了です。みんなデザートが大好きです。「もう少しでデザートだね」と声をかけられると頑張っ間食しようと励みになっているようですよ。ご家庭でも同じ方法ですることをおすすめしているわけではありませんが、野菜の美味しさを知るヒントになると思います。野菜を食べられるようになって自信がついたところで、年度の終わり頃には全ての献立（主菜・副菜・ご飯・汁物・デザート）を並べて食べ始めます。こうする事で、自分で考え選びながら食べる力がついていきます。

